

2023_1203「ムササビに近づく（写真）」日々の理科 3405号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

フクロウ用の巣箱にムササビが居座って、もう一ヶ月になります。ムササビは夏と冬の年2回営巣・出産をしますが、居座っているのはオスなので「嫁さん探し」をしているのかもしれませんが。毎日午前4時頃巣箱に入って、12時間以上爆睡しています。

巣箱を出すのは決まって午後5時過ぎで、冬至が近づいてきてからは時刻が少しずつ早まっています。私は山荘に滞在している日は、巣箱の近くまで行って巣箱から出る様子を観察していますが、ムササビは一向に警戒する様子もなく、また翌朝には戻ってきます。

写真を撮ろうとすると、ちゃんとこっちを向いてくれるので、顔や脚の細部までよく観察できます。前脚・後脚とも黒いこと、それに何といても体を覆うほど長い尻尾でしょう。

ムササビはとなりの木に飛ぶこともあります。巣箱のついている木（カラマツ）をスルスルとすごい速さで登って、かなりの高さから飛ぶこともあります。私のカメラと技術では、飛膜を広げて飛ぶ様子は撮影できません。いつかは撮影してみたいと思っています。

(2023年12月上旬／北軽井沢)

